



保護者のみなさまには、日頃はもとより、様々な行事・活動、除草作業等のPTA活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。 「学校評価に関する保護者アンケート(9月)」の実施にあわせて、学校全体の取組についてご紹介いたします。 なお、今年度より、保護者アンケートは、9月・1月の2回実施に変更します。結果については、ホームページに掲載いたします。

安心・安全の学校づくり

緊急対応訓練

各学部にて、てんかん発作や頭部打撲等を想定して毎学期1回実施しています。非常勤講師の先生も含め、全教職員でもしもの事態に備えています。

【中学部・2学期】

生徒が校内で行方不明になった想定で捜索連携体制のシミュレーション訓練を実施しました。

校内放送を聞いて速やかに教員が集合、捜索場所の分担し、実際に捜索する訓練を行いました。

訓練後は、各教員が気付いたこと、改善が必要なことをその場で話し合いました。校舎外では校放送が聞こえない場所があることも判明し、後日、放送点検も追加で実施しています。



「学校いじめ防止基本方針」の見直し・改訂

本校では、年2回、**児童生徒いじめ調査(個人面談)**を実施しています。担任が必要に応じてイラストを提示して児童生徒が回答しやすいよう話したり、各学部の教員全員で子どもたちの気になる様子を話し合ったりして、いじめの未然防止、早期発見に努めています。学校HPに掲載していますので、ご確認ください。

教育活動の情報発信

ホームページでは、行事や学習の様子、研究生産物等を公開しています。学校評価アンケート【評議員】【保護者】の結果も掲載しています。
昨年度の保護者アンケートでのご意見を受けて、各学部の授業風景の掲載を増やしています。
ぜひ、ご覧ください。



↑ 本校HP

研究や授業実践成果の地域発信

令和7年度特定授業研究会(7月4日)

今年度は、授業公開、研究概要説明、講演を実施し、73名の参加がありました。県教育センターの研修の場としても協力しています。

公開授業では、どの学部の授業でも子どもたちが主体的に活動する姿が見られました。参加者からも「とても有意義」64.3%、「有意義」35.7%と高く評価されました。

講演は広島都市学園大学 教授 竹林地 毅先生に『実生活で生かす学習と授業づくり』についてお話いただきました。参加者からも本校の教員においてもの研究や授業改善のために大変有益な講演でした。



高) 作業学習ものづくり



中) 生活単元学習



研究概要説明



保護者との連携

今年度は夏休み中に保護者と教員合同の研修会を2回実施しました。また、除草作業も5月に続き、この後10月に予定していただいています。ありがとうございます。

5月 除草作業1回目
8月 防災研修会、進路研修会
10月 除草作業2回目



防災研修会
(防災食の試食の様子)

関係機関との連携 【大分大学教育学部】

教育実習

本校の使命の一つでもある、教育実習。年間約300名の学生を受け入れています。

5・11月	介護等体験	119名
9月	本免教育実習(3年)	11名
11月	副免教育実習(4年)	5名
10・11月	教職入門ゼミ(1年)	154名

9月には、特別支援教育コース3年生の本免教育実習4週間がありました。
※大分大学教育学部は、教員就職率 5年連続全国1位です。

大学院、新任教員研修

学校経営プロジェクトI(現職教員)	6名
学校実践基礎研修(学部院生)	8名
FD研修(新任大学教員)	3名

校内の授業観察、校長講話、質疑応答を行いました。学部院生は、中学部体育に参加し、生徒と一緒にポッチャを体験したり、高等部のものづくり作業で、生徒から説明を受けながらかごを製作したりしました。



全体授業 中)国語



全体授業研究会



高)ものづくり作業



中)体育 ポッチャ

卒論協力

教育学部4年生2名の卒業論文での調査に、児童生徒14名が協力しています。保護者の方にも各種検査の回答などにご協力いただいています。ご理解・ご協力に感謝いたします。